

「Connected Industries推進のための協調領域データ共有・AIシステム開発促進事業」 (サプライチェーンの迅速かつ柔軟な組換えに資するデジタル技術の開発支援)

公募説明資料

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

IoT推進部

- 1 事業概要**
- 2 助成事業開始までの流れ**
- 3 審査フロー**
- 4 審査基準**
- 5 応募期限及び応募手続き**
- 6 応募方法**
- 7 スケジュール**
- 8 Appendix : e-Radでの応募方法について**

背景

新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、取引先の生産停止、外出制限による従業員の出勤制限、渡航制限による減便や欠航等の問題が生じ、製造サプライチェーン※に大きなダメージをもたらしました。

我が国の製造事業者にとっては、今般のサプライチェーン寸断リスクが中長期化してしまうケースや、将来再度こうしたリスクに直面するケースが生じても、**サプライチェーンの迅速・柔軟な組換え**によりその**寸断リスクにも対応が可能な企業変革力（ダイナミック・ケイパビリティ）**の向上を図ることが、今後の重要な経営課題となっています。

これにより、その時点で調達可能な部品で生産可能な代替製品の迅速な設計・生産、自社工場での生産継続が難しい場合における、代替生産が可能な他の拠点や協力企業への発注や生産工程移管、代替生産を引き受けた企業が短期間で生産稼働開始等を可能とするような**柔軟で強靱なサプライチェーン構造を実現**することが重要です。

また、「アフター・コロナ」の国際経済社会を見据え、**デジタルトランスフォーメーションの取組をいっそう加速**し、日本の製造業の産業競争力の維持・強化を図ることも重要です。

※サプライチェーン：原則として複数の企業を跨るモノの流れ、供給の連鎖

目的

今後の製造サプライチェーンは、こうした不測の事態への迅速・柔軟な対応や多品種少量・短納期化への対応を可能にするため、製品の設計・組立や部品の加工技術などに競争優位を有する複数の企業が、ある製品の製造プロジェクトのために柔軟に連携しながらサプライチェーン構造を形成していく形態が拡大していくと考えられます。

そのためには、各企業において商品企画や製品設計から工程設計、組立・部品加工等に至るエンジニアリングチェーンの組織能力の高度化・迅速化を実現するとともに、企業間の取引関係の柔軟な連携を円滑化・迅速化していくことが重要です。その実現のためには、デジタル技術のいっそうの活用が必要です。

本事業では、製造工程間でのシームレスなデータ連携や企業間でのセキュアなデータ共有を可能にするデジタル技術の開発支援を実施し、製造業におけるサイバー・フィジカル・システムの構築に向けた先行事例を創出、その推進を後押ししていくことを目的とします。

今般の提案公募を通じて、製造業のエンジニアリングチェーンやサプライチェーンの全体最適を実現し将来的に統合的なサイバー・フィジカル・システムを構築していくことを視野に、既存のシステム製品・サービスではまだ課題解決が十分に進んでいない領域を明らかにし、その技術開発を重点的に支援していきます。

事業内容

本事業では、以下の2つの課題を設定し、これらの課題解決を可能とする**デジタル技術の提案**を募集します。

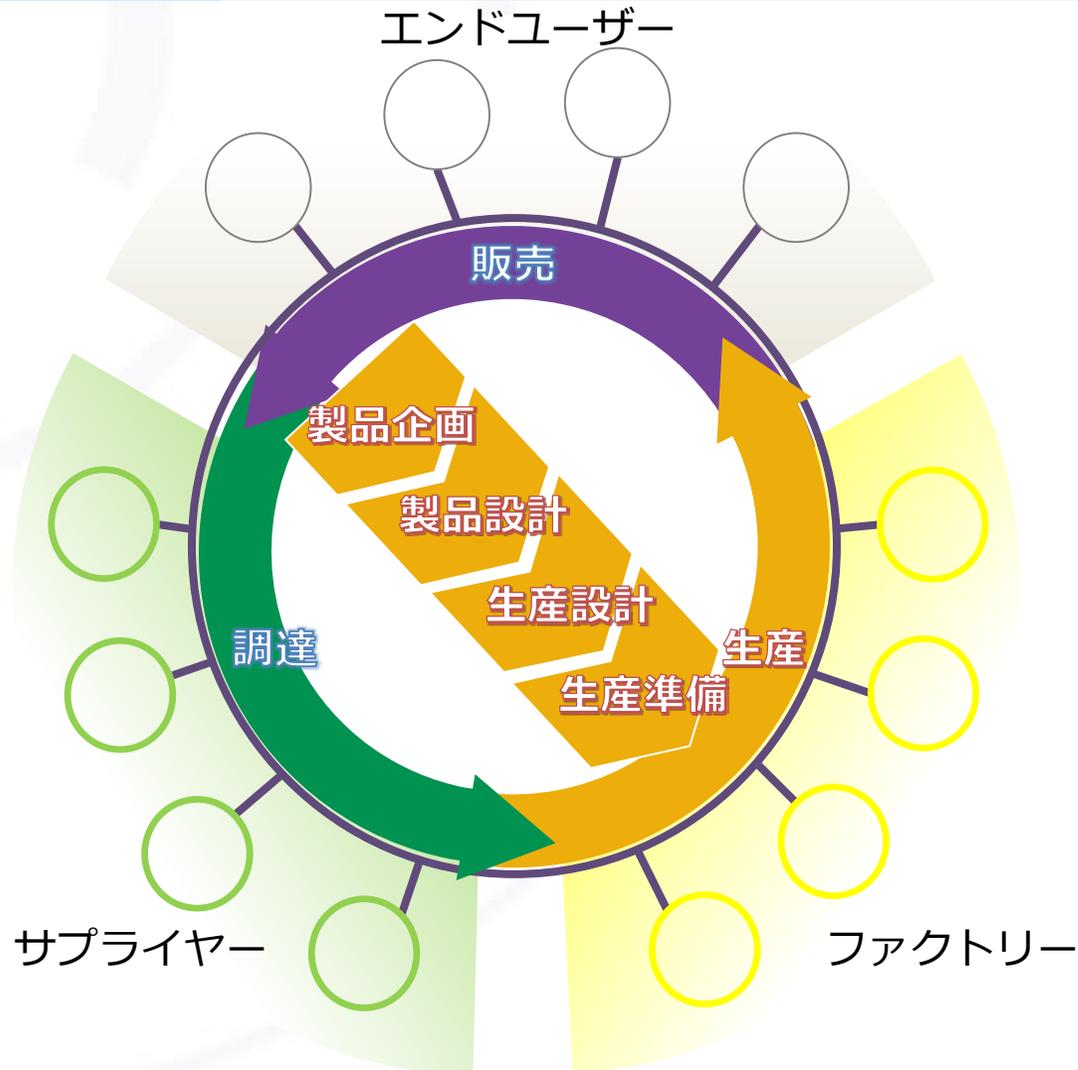
課題1：各企業における製造工程間のシームレスなデータ連携・活用

課題2：企業間でのセキュアなデータ連携・活用

提案においては、全体提案（課題1、課題2双方を含む）および部分提案（課題1または課題2のみ）を可とします。

また、全体パッケージのみならずモジュールごとの導入を可能とする仕組みや、既存の他社システムとも連携・接続可能なAPI等の仕組み、導入企業側でのカスタマイズ・システム開発を容易にするSDK環境の構築等、中堅・中小企業による導入が進みやすくするための工夫も盛り込まれることが望ましいです。

開発がある程度まとまって進捗した時点で段階的にユーザーからの評価を受け、開発計画へ反映させることを目的として、ユーザビリティ評価の実施を実施計画に定めるものとします。



事業内容（続き）

本事業では、課題1、課題2のいずれにおいても、左図の赤字で表現しているエンジニアリングチェーンの一部または全部と連携する提案を募集します。

事業内容（続き）

課題1：各企業における製造工程間のシームレスなデータ連携・活用

様々な製品製造の課題（*注1）に対して、生産準備や工程設計を含むエンジニアリングチェーンを通じた**製造工程間の更なるデータ連携の円滑化**やシミュレーション技術等の活用・開発を促進することで、「**擦り合わせ**」や**工程一貫の流れを全体俯瞰できる組織能力を強化・体系化**していくことが重要と考えられる。

課題2：企業間でのセキュアなデータ連携・活用

複数の企業・拠点がかかわることによる様々な課題（*注2）に対応するには、**企業間の取引関係やデータ連携を円滑化**し全体最適化を支援するため、AIやビッグデータ技術、シミュレーション技術をはじめデジタル技術を活用したシステム開発展開が重要であると考えられる。この際には、企業間で共有・連携を促進すべきデータと各企業固有のノウハウとなる**データを峻別**することや、共有データの**秘匿性を確保**する**セキュアなシステム環境**の実現が重要と考えられる。

*注1、注2：次ページに各課題の具体例を示しますが、これに捕らわれない様々な提案を期待します。

*注1

- 製品を構成する部品データを設計部門のみならず調達部門やサービス部門が個別に作成しており、設計変更に伴うデータ修正が他の部門では共有・反映されていないなどの作業の重複や非効率が生じている。
- 日本のものづくりは製造現場におけるカイゼンや、「つくりやすさ」や全体機能最適を追求し設計に織り込んでいく工程・企業間の「擦り合わせ」に強みがあると言われているが、製品組立の工程設計を担う生産技術部門の業務を支えるデジタルツールは十分に整備されておらず、製造工程間のデータ連携も十分に進んでいない。
- 部品加工を得意とする企業においても、CADやCAM等のデジタルツールの導入活用は一定程度進んでいると考えられる一方で、加工形状や生産機械の個体差などを総合的に勘案して加工パス・条件等を最適化していく操作作業は熟練労働者のノウハウや経験に依存していることが少なくない。

*注2

- 不測の事態により特定の部品について供給途絶リスクが生じた場合、代替調達先企業を至急探し出す必要があるが、新たな調達先企業との取引関係を構築するためには、当該部品の供給が可能な候補企業を特定した上で、見積りのやり取りや納期の調整、保有生産設備の確認、供給部品の品質や性能・機能評価、加工技術やエンジニアリング能力の見極め等多様な事前準備が必要とされ、更には図面やデータフォーマットの相違等によるコミュニケーション上の支障が生じる場合がある。
- 複数の企業や拠点間をまたがるサプライチェーンにおける生産管理や、生産技術・生産現場等が工程間分業されている場合において、企業間・拠点間の連携の全体最適化が重要であるが、生産管理データや生産設備の稼働データ等が分断されていることから、リアルタイムでの生産管理調整や遠隔稼働監視や工程カイゼン等を実現することが難しい。
- 特に自動化や標準化が進んでいる生産機械・設備を利用した部品の生産加工については、当該部品に係る工程設計や加工プログラム等の開発と部品生産加工の分業連携が想定されるが、ニーズに応じた設計開発の迅速化を可能にするシステム基盤や、加工プログラム等をセキュアなかたちで最適な拠点に共有して生産加工を実現するシステム基盤が十分に整備されていない。

事業概要



事業期間

事業期間は2020年度から2021年度末までの**最大2年度間**とします。

事業規模

1件あたりの助成金の限度額は、以下を予定しています。

2020年度から2021年度までの最大2年度間で**1億円以内**。

(全体提案（課題1、2双方含む）、部分提案（課題1または課題2のみ）、いずれの場合も限度額は変わりません)

なお、**助成金は審査の結果等により提案額から減額して交付**することがあります。

補助率

企業規模に応じて、原則、下表の比率で助成します。

助成先	大企業等	中堅・中小企業
補助率	1/2助成	2/3助成

事業概要



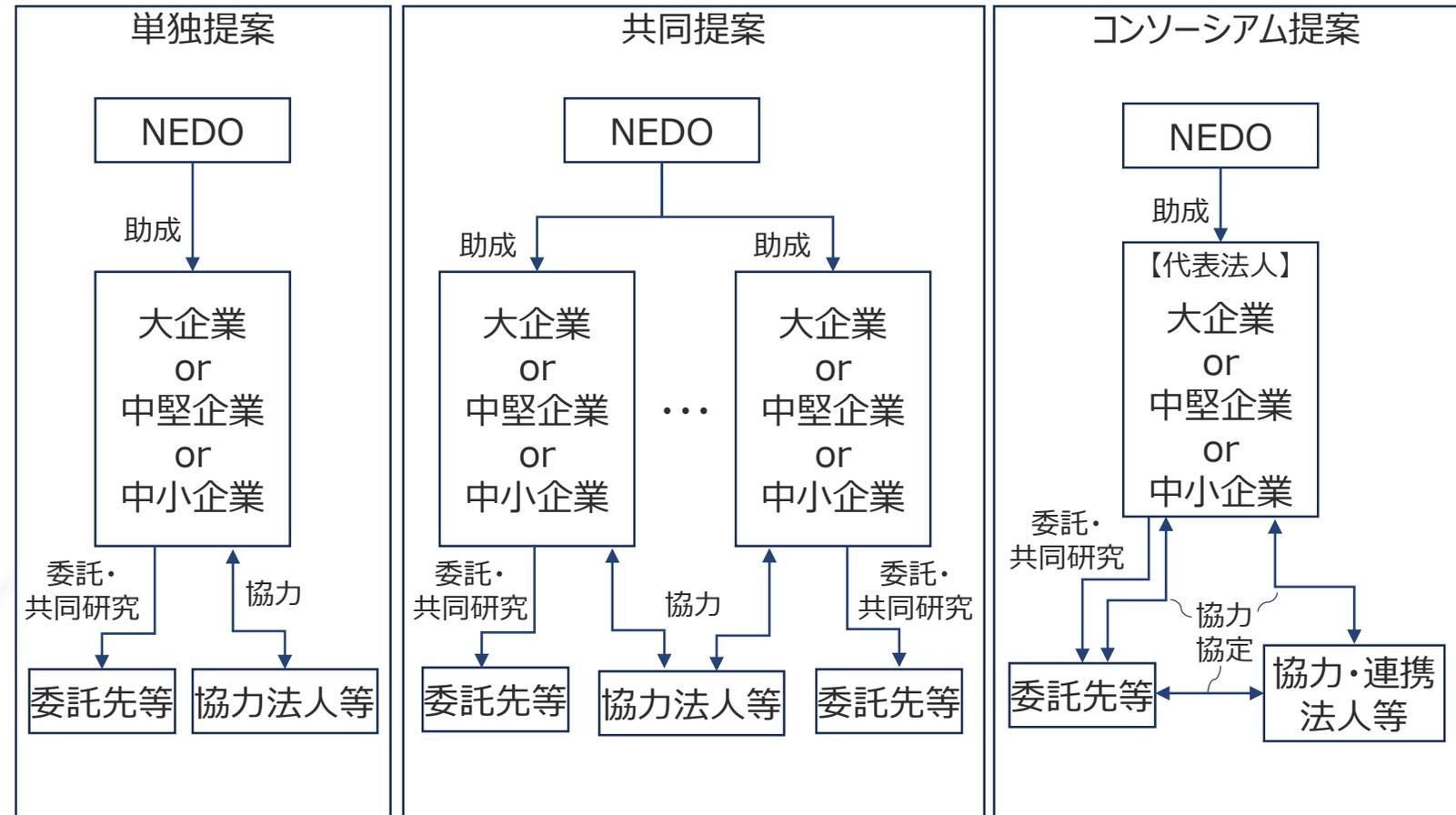
事業スキーム

本事業では、単独法人の提案または、複数法人（大学等を含む）共同提案を可とします。

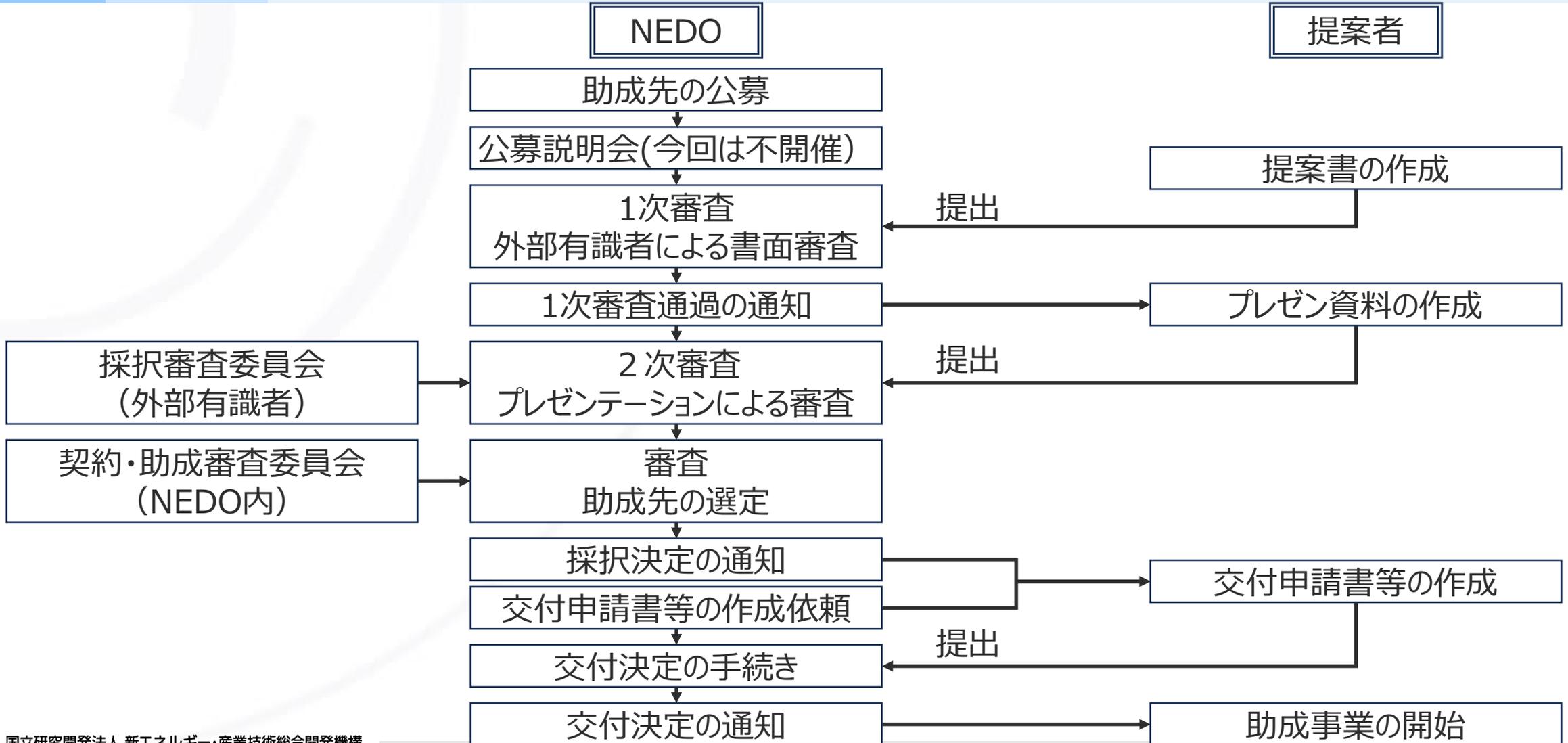
将来的な協力関係の拡大を見据えたコンソーシアム体制での取り組みも可とします。

※コンソーシアムで取り組むプロジェクトについては、代表する1者が、そのプロジェクト全体を総括して実施するものとします。

※助成事業者が国公立研究機関、学術機関等と共同研究を実施する場合には、学術機関等への共同研究費を定額助成します。



助成事業開始までの流れ



審査フロー：公募締切り～1次審査～2次審査



- ① 公募締切り後、1次審査として、**提案書類一式に基づいて外部審査委員による書面審査**を行います。審査を通過した提案者のみ、**メールで2次審査の通知**を行います。
- ② 1次審査を通過した提案者の内、会計監査人を設置していない会社を対象として会計士等による財務分析を実施します。
- ③ 1次審査通過後に、必要に応じて資料の追加等をお願いする場合があります。
- ④ 2次審査では、提案内容について**プレゼンテーション**を行っていただき、その内容を踏まえて審査を行います。審査は**Webミーティングの形式**で実施します。審査の進め方は、2次審査の通知の際に連絡します。プレゼンテーションで使用する資料は、**1次審査通過の通知から約1週間後に提出**していただく予定のため、資料の内容についてはあらかじめ検討しておく必要があります。これらの資料は、提案様式等の関係書類としてお示ししている様式に従い、作成してください。

プレゼンテーション資料については、次ページをご参照ください。

プレゼンテーション資料について

- ・プレゼンテーション資料には、右記の内容を含めるものとします。
- ・これらの項目に対する説明が乏しい、又は説明が行われない場合、審査で良好な評価を得にくい場合があります。
- ・なお、プレゼンテーション資料に対する補足説明が必要な場合は、PowerPointのノート機能を使い、テキストによる説明を行ってください。

(プレゼンテーション内容)

◎事業計画【ビジネスプランの説明】

- エグゼクティブサマリー（ビジネスプランの要点）
- エグゼクティブサマリーの詳細
 - ・事業立ち上げの経緯
 - ・市場及び共創・競合の分析
 - ・ビジネスモデル
 - ・立ち上げ計画

◎研究開発計画【事業計画を実現するためにNEDO事業で実施する研究開発内容の説明】

- 開発計画
- 達成目標・水準・指標の設定
- 開発終了後の3年分売上計画

審査フロー：2次審査後～交付決定

2次審査後NEDO内に設置する**契約・助成審査委員会**で最終的に採択決定し通知を行います。審査の内容によって、実施内容や助成対象経費の変更等が「採択の条件」となる場合があります。「採択の条件」に不服がある場合は申請を取り下げることができます。なお、**採択決定は助成金の交付決定ではありません。**

- ① 採択決定された提案者の内、会計監査人を設置していない会社には「200万円以上（税込）の「見積もり・取引予定先一覧」を提出していただきます。
- ② **採択決定の通知後1か月以内**に、助成金交付申請書が提出され次第、NEDOは交付決定の手続に入ります。
- ③ 各条件等の確認後、所定の文書手続を経て、順次NEDOが助成金の交付決定を通知します。また、一部の申請情報を基に、交付決定先の公表をいたします（応募者の氏名、助成先法人名、助成事業の名称及び助成事業の概要）。さらに、採択審査委員（評価者）の所属、氏名を交付決定後にNEDOのウェブサイトに公表します。助成事業は、交付決定通知書に記載する事業開始日以降に開始することができ、それ以前の経費は助成対象として計上できません。
- ④ **不採択の場合、不採択理由を添えてその旨を通知いたします。**
- ⑤ 交付決定後、必要に応じてニュースリリースを行う場合があります。**採択事業者が採択に係るニュースリリース等を実施する場合は事前にNEDO担当部まで**ご相談ください。

審査基準 -a. 採択審査の基準(提案に対する審査)-



i. 事業者評価

技術的能力（先進技術への取組）、助成事業を遂行する経験・ノウハウ、財務能力（経理的基礎）、経理等事務管理/処理能力

ii. 事業化評価（実用化評価）

新規性（新規な開発又は事業への取組）、市場創出効果、市場規模、社会的目標達成への有効性（**エンジニアリングチェーンやサプライチェーンへの貢献、社会目標達成評価**）

iii. 企業化能力評価

実現性（開発終了後のビジネス展開戦略や計画、構想する全体システム構成における本事業の位置付け、**既存の類似サービスとの差別化**）、目指す規模と期間、生産資源の確保、販路の確保（グローバル性）

iv. 技術評価

技術レベルと助成事業の目標達成の可能性、基となる研究開発の有無、保有特許等による優位性、技術の展開性、製品化の実現性、重要技術課題との整合性

v. **ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況**（平成28年3月22日にすべての女性が輝く社会づくり本部において、社会全体で、女性活躍の前提となるワーク・ライフ・バランス等の実現に向けた取組を進めるため、新たに、女性活躍推進法第20条に基づき、総合評価落札方式等による事業でワーク・ライフ・バランス等推進企業をより幅広く加点評価することを定めた「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」が決定されました。本指針に基づき、女性活躍推進法に基づく認定企業（**えるぼし認定企業**）、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業（**くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業**）、若者雇用促進法に基づく認定企業（**ユースエール認定企業**）に対しては**加点評価**されることとなります。

また、**若手研究者（40歳以下）**が主任研究者として登録され、当該研究者の実績や将来性等を加味した提案になっている場合や、提案者が「**J-Startup企業**」として選出されている場合や**IoT推進ラボセレクションのファイナリスト**である場合は、**加点評価**されることとなります。

審査基準 -b. 契約・助成審査委員会の選考基準-

助成金の交付先は、次の基準により選考するものとします。

i. 助成金交付申請書又は申請書の内容が次の各号に適合していること。

1. 助成事業の目標が機構の意図と合致していること。
2. 助成事業の方法、内容等が優れていること。
3. 助成事業の経済性が優れていること。

ii. 助成事業における助成事業者の遂行能力が次の各号に適合していること。

1. 関連分野における事業の実績を有していること。
2. 助成事業を行う人員、体制が整っていること。（国際共同研究体制をとる場合、そのメリットが明確であること。また、特にNEDOが指定する相手国の公的資金支援機関の支援を受けようとしている（又は既に受けている）場合はその妥当性が確認できること。）当該開発等に必要な設備を有していること。
3. 助成事業の実施に必要な設備を有していること。
4. 経営基盤が確立していること。
5. 助成事業の実施に関して機構の必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。

採択審査基準および契約・助成審査委員会基準と様式の関係性



審査の種類	審査項目		対応する様式等
採択審査基準	i. 事業者評価		提案様式一式、プレゼンテーション資料、積算用総括表
	ii. 事業化評価		
	iii. 企業化評価		
	iv. 技術評価		
	v. ワーク・ライフ・バランス認定等	ワーク・ライフ・バランス等推進の取り組み	提案者一覧表
若手研究者等の登録		若手研究者（40歳以下）及び女性研究者数の記入について	
J-Startup企業認定、IoT推進ラボセレクションファイナリスト		e-radでの入力	
契約・助成審査委員会基準	i. 助成金交付申請書又は申請書の内容が次の各号に適合していること		提案様式一式、プレゼンテーション資料、積算用総括表、採択審査委員会の結果
	ii. 助成事業における助成事業者の遂行能力が次の各号に適合していること		

応募期限及び応募手続き

- 応募は府省共通研究開発管理システム（e-Rad）で以下の応募期限まで受け付けます。応募者は事前にe-Radへ登録の上、応募を行ってください。連名の場合は、代表法人が登録を行ってください。
- **応募期限：2020年7月6日（月）12時**
- **公募期間：2020年5月29日（金）から2020年7月6日（月）12時**
- 期限までに応募されなかった場合、いかなる理由であろうとも無効とします。また、入力内容や提案書類に不備等がある場合は審査対象となりません。公募要領を熟読の上、注意して記入してください（提案書類のフォーマットは変更しないでください）。

応募方法

- 助成金を希望する事業者は、e-Radにログインいただき、本事業の応募ページに必要事項を入力することで、提案書を作成してください。

e-Rad公募ページ : <https://www.e-rad.go.jp/>

公募名 : **Connected Industries 推進のための協調領域データ共有・AIシステム開発促進事業／サプライチェーンの迅速かつ柔軟な組換えに資するデジタル技術の開発支援**

- また、次ページの提案様式についても、アップロードを行ってください。e-Radで作成した提案書と、アップロードいただく提案様式を組み合わせたものを、提案書類一式とします。

提案様式等の関係書類の入手

下記の提案様式等の関係書類は、NEDOホームページの本公募ページからダウンロードすることができます。

本公募ページ : https://www.nedo.go.jp/koubo/IT2_100164.html

- ① 公募要領【PDF】
- ② 提案様式【zip】
- ③ 交付規程【PDF】
- ④ 基本計画【PDF】
- ⑤ 実施方針【PDF】
- ⑥ (2次審査用) 積算用総括表【Excel】
- ⑦ (2次審査用) プレゼン資料様式【PPT】
- ⑧ (交付申請時) 交付申請書様式【Word】

応募に関する注意

- ① 応募者は必ず事前に e-Rad の登録を行ってください。
- ② 提案書類一式は日本語で作成してください。また、審査は日本語で行います。
- ③ 国外企業等と連携している、又はその予定がある場合は当該国外企業等と締結した共同研究契約書の写し、又は当該外国外企業との共同研究の意志を示す覚書の写し1部。

e-Rad による登録手続きを行わないと本事業への応募ができませんので、十分留意ください。所属機関の登録手続きに日数を要する場合があります。2週間以上の余裕をもって登録手続きを行ってください。

公募説明会

- ・ 当該助成事業の内容、応募に係る具体的な手続、提出書類一式の記載方法等は説明会形式では行いません。
- ・ 本公募についての参考資料は、公募説明資料（本資料）とQ&A集となります。Q&A集は、下記本公募ページよりご参照ください。

本公募ページ：

https://www.nedo.go.jp/koubo/IT2_100164.html

応募に関する問い合わせ先

応募に関する質問等は7/2まで**電子メール**で受け付けます。
ただし、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

問い合わせ先

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）IoT
推進部公募担当

メールアドレス：cis@ml.nedo.go.jp

スケジュール



2020年

- 公募期間：** 5月29日(金)～7月6日(月)
- 公募説明会：** 新型コロナウイルスの影響を考慮し、公募説明会は行いません。本事業の内容及び契約に関するご質問等は[問い合わせ先](#)までご連絡下さい。
- 審査期間：** 7月上旬～8月上旬
(2次審査は7月下旬頃の予定)
- 採択通知：** 8月下旬
- 交付決定：** 10月上旬以降
- 交付決定先の公表：** 10月上旬以降

e-Radでの応募方法について

e-Rad提案時のご説明



応募に必要な提案書類一式は、e-Radページからの提出のみ可となっております。
e-Radにログイン後、新規公募→公開中の公募（新規応募）へと移動し、
該当する公募名を検索いただき、公募の概要や詳細を確認の上で、応募してください。

- **Connected Industries 推進のための協調領域データ共有・AIシステム開発促進事業
／サプライチェーンの迅速かつ柔軟な組換えに資するデジタル技術の開発支援**

応募は府省共通研究開発管理システム（e-Rad）で以下の応募期限まで受け付けます。応募者は事前にe-Radへ登録の上、応募を行ってください。連名の場合は、代表法人が登録を行ってください。

応募期限：2020年7月6日（月）12時

※e-Radへの情報入力は、**募集締め切りから数日以上**の余裕を持つようにしてください。

締切当日はe-Radシステムが混雑し、入力作業に著しく時間を要する恐れがあります。

※入力情報は「**一時保存**」が可能です。また、提案書の提出後も提案者自身が「**引き戻し**」を行い、再編集することが可能です。

詳しくはe-Radポータルサイトに掲載されている研究者向けマニュアルをご参照ください。

ただし、**募集締め切り当日は「引き戻し」を行わないよう**にしてください。e-Radシステムが混雑し、引き戻し後の再編集に著しく時間を要する恐れがあります。

※一次審査通過者は、プレゼンテーション資料とP Cを審査日当日に持参してください。

e-Radによる提案書類の提出について



- 1次審査時：提案書（e-Radでの概要作成）、助成事業実施計画書等審査上必要な様式
- 2次審査時：1次審査で提出した情報の具体化（プレゼンテーション資料、積算）
- 交付申請時：助成金の手続きに必要な書類の作成・提出

提案時（1次審査前）

- ・提案書（e-Radで作成および申請）

- チェックリスト（PDF）

- ・助成事業実施計画書（PDF）

- 応募体制図（PDF）

- ・提案者一覧表（Excel）

- 利害関係の確認について（PDF）

- 主任研究者研究経歴書（PDF）

- 若手研究者（40歳以下）及び女性研究者数の記入について（PDF）

- NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票（企業のみ）（PDF）

- ・財務データ入力フォーム（Excel）

- ・会社案内等、会社概要をまとめた資料（PDF）

- ・貸借対照表、損益計算書及びキャッシュフロー計算書等の直近3年分の経営状況を示す書類（PDF）

- （別添1）非公開とする提案内容（PDF） ※該当者のみ

2次審査前

- プレゼンテーション資料（PowerPoint）

- ・積算用総括表（Excel）

交付申請時

- ・助成金交付申請書

e-radで「応募情報ファイル」として1つのPDFファイルに統合いただきたいのは、赤丸で囲んでいる資料。
1次審査の段階でプレゼンテーション資料も提出する場合は、PDF化の上で上記応募情報ファイルに統合ください。

e-Radでの申請の行い方



公開中公募一覧 - Internet Explorer
e- https://www.trial.e-rad.go.jp/erad/e02/e0204g02/

eRad
新規応募 提出済の課題 エフォートの管理 その他

研究者 > 新規応募 > 公開中の公募 (新規応募)

公開中の公募一覧

現在公開中の公募情報を検索し、応募することができます。

検索条件

検索項目/検索文字列: 公募名 [部分一致]

表示件数: 100件

▼ 詳細条件を表示

検索条件クリア 検索

公開中の公募一覧

- 公募情報の詳細は、「公募名」のリンクをクリックしてください。
- 応募する場合は、「応募する」ボタンをクリックしてください。

検索結果のダウンロード

公募名	公募番号	公募内容	単位	承認の要否	締切日時	機関内締切日時	応募
METサポイン訓練 (国創)		平成31年度戦略基盤技術高度化支援事業	研究機関単位	-	2019/04/30 17時00分		
ヘルプデスク配分機関		年度ごとの募集申請の要否を必要とする公募	研究者単位	不要	2019/04/30 18時30分		応募する
ヘルプデスク配分機関		研究開発課題名の文字数に関する研究	研究者単位	不要	2019/08/31 12時00分		応募する

トップページへ

検索窓に提案を希望するタイトル名を入力し、検索。
「サプライチェーンの迅速かつ柔軟な組換えに資するデジタル技術の開発支援」

該当する公募を選択することで、
様式などの詳細情報が確認できます。

応募は「応募する」ボタンを押下することで
行うことができます。

e-Radでの申請の行い方



NEDO公募ページ。提案様式一式は、e-radページからではなく、はこちらからダウンロードできます。

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

お問い合わせ窓口 | ウェブサイトの使い方 | サイトマップ | English

文字サイズ変更 小 中 大 | サイト内検索 Google カスタム検索 検索

ホーム 最近の動き ニュース **公募・調達** イベント 特集記事

NEDOについて

事業一覧

NEDOライブラリ

お問い合わせ窓口一覧(公募・制度・資料等)

公募・調達

- 公募情報
 - 公募情報一覧(検索可能)
 - 分野別情報一覧
 - 過去の公募情報(分野別一覧)
- 調達情報
 - 調達予定案件
 - 入札情報一覧(検索可能)
 - 入札の結果一覧
 - 随意契約に関する事項
- 調達推進
 - 環境物品等の調達
 - 障害者就労施設等からの調達
 - 中小企業者に関する契約の方針

◎ 競争参加者の資格について

ネットワーク/コンピューティング分野の情報

ホーム > 公募・調達 > 「Connected...」

本公募 「Connected Industries推進のための協調領域データ共有・AIシステム開発促進事業/サプライチェーンの迅速かつ柔軟な組換えに資するデジタル技術の開発支援」に係る公募について

2020年5月29日

概要

技術・事業分野	ネットワーク/コンピューティング	プロジェクトコード	P19001
事業名	Connected Industries推進のための協調領域データ共有・AIシステム開発促進事業(サプライチェーンの迅速かつ柔軟な組換えに資するデジタル技術の開発支援)		
事業分類	研究(委託、共同研究、助成)		
対象者	企業(団体等を含む) 大学等		
公募期間	2020年5月29日～2020年7月6日		
問い合わせ先	IoT推進部 ○実装グループ 担当者:内藤、菅原、久保田、工藤 E-MAIL: cis@ml.nedo.go.jp		

詳細

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下「NEDO」という。)は、下記事業の実施者を一括に広く募集いたしますので、本件について受託を希望する方は、下記に基づき御応募ください。

1. 事業内容

(1) 概要

新型コロナウイルスの世界的流行により製造サプライチェーンの寸断リスクが増大する中、サプライチェーンの柔軟・強靱な組換えを実現可能な事業体制の構築が重要となっています。そのためには、その時点で調達可能な部品で生

NEDO公募ページ

→ パンフレット

e-Radへの登録に関するヘルプデスク

電話番号: 0570-066-877(ナビダイヤル)、03-6631-0622(直通)

受付時間: 午前9時00分～午後6時00分(平日)

(土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)を除く)

4. その他

交付規程につきましては以下のリンクを参照してください。

- ◎ 課題設定型産業技術開発費助成金交付規程および様式

公募時に過去のNEDO研究開発プロジェクトの実績調査いたします。

応募状況等により、公募期間を変更することがあります。公募期間を変更する場合には、NEDOホームページにてお知らせします。

公募情報に関するお知らせはNEDO公式Twitterにて随時配信しております。ぜひフォローいただき、ご利用ください。

資料

- 公募要領(476KB)
- ↓ (次審査用)提案書様式一式(177KB)
- ↓ (2次審査用)プレゼンテーション資料様式(64KB)
- ↓ (2次審査用)積算用総括表(47KB)
- (交付申請時)交付申請書様式(30KB)
- 基本計画(326KB)
- 実施方針(250KB)

◎ ページトップへ

サイト利用について | プライバシーポリシー | 情報公開 | 採用情報

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
(法人番号 202005008480)
© New Energy and Industrial Technology Development Organization. All rights reserved.

提案様式一式はこちらから入手可能

応募（新規登録）

応募を行うに当たって必要となる各種情報の入力を行います。
画面はタブ構成になっており、それぞれのタブをクリックすると各タブでの入力欄が表示されます。
各タブの必要な項目をすべて入力し、「入力内容の確認」をクリックしてください。

公募年度／公募名	2020年度 / Connected Industries 推進のための協調領域データ共有・AIシステム開発促進事業/サプライチェーンの迅速かつ柔軟な組換えに資するデジタル技術の開発支援
課題ID／研究開発課題名	XXXXXXXX / 文字以内
一時保存中の課題を配分機関に公開する ?	<input type="checkbox"/> 公開

↑ 事業内容がわかる、40文字以内の短く簡潔な内容としてください。

基本情報	研究経費・研究組織	応募・受入状況
基本情報		
研究期間（西暦）	必須	最短研究期間：1年 最長研究期間：2年 (開始) <input type="text"/> 年度から(終了) <input type="text"/> 年度まで
研究分野(主)	研究の内容	必須
	キーワード	必須
		<input type="text"/> キーワード <input type="button" value="削除"/>
		<input type="text"/>
		<input type="button" value="行の追加"/> <input type="button" value="選択行の削除"/>
研究分野（副）を設定する		<input type="button" value="▼ 任意項目を表示"/>

e-Radでの申請 基本情報②

研究分野（副）を設定する ▼ 任意項目を表示

研究目的 必須

研究概要 必須

e-radの仕様で入力必須になっていますが、記載不要です。何か1文字入力いただければ結構です。

200~250文字の範囲で、事業目的、開発内容を端的に記載してください。

基本情報-申請書類

【必須】 参考資料として記載されている様式以外を全てPDFにしてこちらからアップロードしてください

名称	形式	サイズ	アップロード
応募情報ファイル 必須	[pdf]	30MB	<input type="text"/> 参照 クリア 削除
参考資料	応募体制図 必須	[PowerPoint (PPT, PPTX)]	30MB <input type="text"/> 参照 クリア 削除
	提案者一覧表 必須	[Excel (XLS, XLSX)]	10MB <input type="text"/> 参照 クリア 削除
	財務データ入力フォーム 必須	[Excel (XLS, XLSX)]	10MB <input type="text"/> 参照 クリア 削除
	会社案内等、会社概要をまとめた資料	[PDF (PDF)]	30MB <input type="text"/> 参照 クリア 削除
	直近3年分の経営状況を示す書類	[PDF (PDF)]	30MB <input type="text"/> 参照 クリア 削除

↑ アップロード

- 基本情報
- 研究経費・研究組織**
- 個別項目
- 応募・受入状況

研究経費

年度ごとの経費の登録を行います。
 「1.費目ごとの上下限」を確認しながら、「2.年度別経費内

- 本項目には、助成事業に要する経費の総額ではなく、NEDOからの助成金の額を記載してください（補助率をかけた金額）
- 複数の助成先が体制に含まれる場合は、それぞれの金額を入力してください。なお、委託先、共同研究先の情報は不要です。
- 課題に参加する研究メンバーは、各法人につき1名代表の方を記載いただければ結構です。

1.費目ごとの上限と下限

直接経費、再委託費・共同実施費の合計		
再委託費・共同実施費	(設定なし)	(設定なし)

2.年度別経費内訳

(単位：千円)

		合計
直接経費	直接経費 必須	0 千円
	小計	0 千円
再委託費・共同実施費	委託費または共同研究費 必須	0 千円
	合計	0 千円

研究組織

1.申請額（初年度）の入力状況

「1.申請額（初年度）の入力状況」を確認しながら、「2.研究組織情報の登録」の各費目を入力してください。
 ここで入力した各費目の金額の計は、上記の「研究経費」の「2.年度別経費内訳」で入力した各費目の初年度の金額と一致するように入力してください。

e-Radでの申請 個別項目



基本情報	研究経費・研究組織	個別項目	応募・受入状況
法人名		<input type="text"/>	
郵便番号	?	<input type="text"/>	
住所		<input type="text"/>	
連絡用電話番号		<input type="text"/>	
連絡用メールアドレス		<input type="text"/>	
連絡先担当者役職		<input type="text"/>	
連絡先担当者氏名		<input type="text"/>	
応募代表者役職	?	<input type="text"/>	
応募代表者氏名	?	<input type="text"/>	
J-Startup認定 / IoT推進 ラボファイナリスト		<input type="checkbox"/> J-Startup企業 <input type="checkbox"/> IoT推進ラボファイナリスト	

審査終了後の採択・不採択通知の送付先の情報を記入してください。

審査プロセスにおける連絡先の情報を記入してください。

審査終了後の採択・不採択通知の送付先の情報を記入してください。

上記は該当する場合にチェックマークを入れてください（加点要件）

助成事業実施計画書①

【事業目的】

本研究開発事業の結果、達成したい内容について具体的かつ簡潔に説明してください。

【事業目標】

事業目的を達成するために、本事業で何を達成するのかを明確にしてください。

【事業概要】

事業目的・目標を達成するために、本事業で実施する研究開発の内容の全体像を説明してください。e-radの「研究概要（MAX250文字）」を必要に応じて膨らませて記載してください。

【事業内容】

事業概要に対応する、個々の具体的な実施内容を記載してください。個々の研究項目ごとに、達成目標、技術課題、克服手段を記載してください。

吹き出しとイタリックの青字部分を削除の上で提出してください。

【追加資料 2】

(注) 本資料は外部有識者による審査に付されますので、審査材料として十分な内容を記述してください。

助成事業実施計画書

1. 実施計画の細目

(1) 事業目的、目標及び事業による効果

① 事業目的

マーケットの現状及び将来の規模、競争環境等を踏まえて、事業の結果、達成したい内容について具体的かつ簡潔に説明してください。
(500文字～2000文字)

② 事業目標

- ①の事業目的を達成するために、本事業で何をどのレベルまで目指すのか明記してください。
- 研究開発の目標と現状の水準との対比を数値で記入するなど、具体的かつ簡潔に説明してください。この目標の設定理由と達成手段についても説明してください。目標設定理由の説明にあたっては、国内外の動向、既存の技術との関連、差別化の観点等を踏まえ、具体的かつ簡潔に説明してください。
- 複数の助成先による共同提案の場合、目標や理由等はそれぞれ明示してください。
(500文字～2000文字)

③ 事業による効果

一般的に期待される効果に加えて、助成事業終了後、本事業の実施により、国内生産・雇用、輸出、内外ライセンス収入、国内生産波及・産業効果、国民の利便性向上等、様々な形態を挙げ、我が国の経済再生に如何に貢献するかについて、バックデータも含め、具体的に説明してください。また、費用対効果について可能な限り定量的な記載を求めてください。
(500文字～1500文字)

(2) 事業概要

- 本事業で実施する事業内容をわかりやすく、簡潔に記載してください。
- 本内容は、(1)の事業目的、目標等を踏まえた内容としてください。本項目に記載される事業概要が詳細化されたものが、(3)事業内容となるようにしてください。
(500文字～1500文字)

(3) 事業内容

- 下記①の例を参考に、記述してください。
- (1)の事業目的、目標等を達成するために必要な技術課題の内容を説明してください。
- 研究項目ごとに実施機関(担当)及び実施時期が明らかになるようにしてください。
- 研究項目ごとに、達成目標、技術課題、克服手段を明記してください。達成目標は、数値を用いるなど定量的かつ明確な説明を目指してください。技術課題や克服手段は、図表を用いる等分かりやすく説明してください。
- 内容に新規性、独創性、優位性があると考えられる場合は、説明をしてください。
- 委託又は共同研究を行う場合は、それぞれの役割分担を明確に説明してください。

①××××の検討(担当:□□□株式会社、×××株式会社)(実施時期:2019年12月～2020年0月)。
達成目標:本研究項目の達成目標について、具体的かつ簡潔に記述してください。
技術課題:目標を達成するための技術課題について、具体的かつ簡潔に記述してください。
克服手段:技術課題の解決手段について、500～1000文字程度で説明してください。複数手段がある場合は、それぞれ記述してください。実施者が複数の場合は、役割分担を明確にして記述してください。

②××××の試験(担当:△△△株式会社)

.....

.....

③××××の設計(担当:〇〇〇株式会社)

助成事業実施計画書②

-
-
- ④××××の製作(担当:〇〇〇株式会社)
-
-
- ⑤××××の構築(担当:〇〇〇株式会社)
-
-
- ⑥××××の評価(担当:国立研究開発法人▽▽▽)
-
-
- ⑦××××の海外調査(担当:〇〇〇株式会社)
-
-
- ⑧××××委員会の開催(担当:〇〇〇株式会社)
-
-

(3) 事業内容にて記載した各研究項目の実施計画を記載してください。

2. 実施計画

事業項目	2019年度		2020年度				2021年度			
	第2 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
①××××の検討										
②××××の調査										
③××××の設計										
④××××の製作										
⑤××××の構築										
⑥××××の評価										
⑦××××の海外調査										
⑧××委員会 の開催										

上記「1. (3)事業内容」であげた各技術開発項目の実施計画を記載してください。
克服手段が複数ある場合等、行の追加を行っても構いません。
不要な列がある場合は適宜削除してください。